



(題字 瀧澤 弘 学長)

第459号  
(平成15年 3 月号)

3月のトピックス

◇ 7日 平成15年度入学者選抜個別学力検査（一般選抜・前期日程）の合格者を発表



△合格者発表風景

◇ 25日 平成14年度富山大学学位記授与式を挙



△告辞を述べる瀧澤学長（左），式典の様（右）

## 目 次

## 学 長 告 辞

- ◆ 平成14年度富山大学学位記授与式を盛大に挙行…………… 3

関 係 法 令 …………… 5

諸 会 議 …………… 6

## 学 事

- ◆ 平成15年度入学者選抜個別学力検査（一般選抜（後期日程））を実施、  
一般選抜等の合格発表も完了…………… 7

- ◆ 平成14年度第3回富山大学運営諮問会議を開催…………… 7

- ◆ 大学院理工学研究科（博士後期課程）学位記授与式を挙行…………… 8

- ◆ 教育学部がロシア連邦ネヴェリスキー海事国立大学と学術交流協定を締結…………… 9

人 事 異 動 …………… 9

## 学 内 諸 報

- ◆ 総合情報処理センターが定期講演会を開催…………… 10

- ◆ 職場のさわやかマナー研修会を開催…………… 10

- ◆ 教養教育に関する講演会を開催…………… 11

- ◆ 極東地域研究センターが第5回セミナーを開催…………… 11

- ◆ セクシュアルハラスメント相談員研修会を開催…………… 12

- ◆ 工学部が第2回外部評価委員会を開催…………… 12

- ◆ 平成14年度永年勤続者表彰及び退職者を囲む懇談会を開催…………… 13

- ◆ 退官記念最終講義の実施…………… 13

- ◆ 海外渡航者…………… 14

主 要 行 事 …………… 16

## 資 料

- ◆ 平成15年度入学者選抜試験実施状況総括表…………… 19

- ◆ 平成15年3月卒業生数…………… 20

- ◆ 平成15年3月修了者数…………… 21

- ◆ 平成14年度大学院研究科修了者一覧…………… 22

## 学 長 告 辞

## 平成14年度富山大学学位記授与式を盛大に挙行

— 学士1,410人, 修士290人, 博士13人計1,713人が晴れの門出を迎える —

平成14年度富山大学学位記授与式が、3月25日（火）午前11時から富山市芸術文化ホールにおいて挙行され、総数1,713人が晴れの門出を迎えました。

式に先立ち、富山大学フィルハーモニー管弦楽団による「ラデツキー行進曲」（ヨハン・シュトラウス作曲）及び「威風堂々」（エルガー作曲）の演奏と、富山大学合唱団による「富山大学歌」（菊池靖雄作詞、森川勝彦作曲）及び「卒業」（谷川雁作詞、新実徳英作曲）の合唱があり、式場に落ち着いた雰囲気をもたらしました。

式は、関係部局長及び名誉教授7人が列席する中、瀧澤学長から、人文学部代表の橋詰珠実さんをはじめとして各学部及び大学院の各研究科代表（専攻代表）14人に学位記が授与されました。

続いて、瀧澤学長が「富山大学の卒業生として胸を張り、社会で存分に活躍して欲しい」旨告辞し、静粛なうちに式を終了しました。

なお、式場前には多数の学生が集まり、卒業・修了生に花束を贈ったり、記念写真を撮っていました。



△人文学部代表の橋詰珠実さんへの学位記授与

## 学位記授与式における学長告辞（全文）

学部卒業・大学院修了の皆さん、おめでとうございます。本日、富山大学から学位を授与されたのは、学士1,410名、修士290名、博士13名、合計1,713名の方々であります。20世紀から21世紀へかけての世紀転換期の中で学生生活を送り、今その成果として学位を授与されたことを、心からお祝い申し上げます。

皆さんが生まれてから生きてきた20世紀は、世界の歴史の中で人類が未だ経験したことのない大量殺戮兵器が次々と発明され、悲惨な戦争に明け暮れた激動の時代でした。確かに昨年は、2人の日本人が同時にノーベル賞を受賞するという明るいニュースもありましたが、しかし6日前に始められたイラクでの戦争は、20世紀に克服したはずの人類の悲劇がまたもや繰り返されて、真理と人類の叡智を求めべきはずの大学での勉学や研究に疑念さえも感じさせる状況を生み出しております。

大学における研究は、歴史の中でそれ自体は善悪に関

係なく、真理の探究を目指すべきものという考えがありました。確かにそれは一面の真理であり、この考えが19世紀から20世紀にかけて学問の発展に寄与してきたのも事実であります。しかし20世紀の急速な学問や科学技術の発達の中で、人類の悲劇的狀況がますます増大したのもまた事実であります。

こうした状況の中で、大学で学ぶこと、研究することの意味を振り返ってみるとき、学問はその根底に人間としての理性と倫理観があってはじめて歴史の中で意味を持つてくるものであります。すべての研究は、逆にこの理念に支えられる限り、一見して社会生活に無関係に見える研究も、やがて学問の歴史の中で輝く成果として認められ、これが後に続く研究者の目標になって来たことを皆さんは学生生活の中で学んだはずであります。

およそ「学ぶ」という場合、その根底に、その専門分野のいかにかわらず、人間の価値観や生き方の多様性を知り、理性に支えられた倫理観を持つことが必要です。この理念の欠如した単なる学問的知識や技術は、人

間に必要な総合的判断能力を失わせることになります。皆さんは、これから社会に出て活躍する際に、或いは研究を続ける際に、どうか富山大学で学び或いは研究した経験をもとに、常に健全な総合的判断力を持って理性と倫理観を失わず、やがて社会で指導的立場に立つ者として、21世紀の社会・人類の幸福の実現に努力をしていただきたいと思えます。

さて、もう一つ卒業に際し、皆さんにとって母校富山大学の将来の姿が気がかりなことと思えます。今ご承知のように、全国の国立大学は2004年、平成16年の4月の法人化を前に、さまざまな準備を始めております。しかし法人化といっても、大学が私立大学になるわけではなく、国が責任を持った国立大学であることに変わりはありません。確かに、運営面で今まで以上に競争的環境の中で個性輝く大学へと変革が求められていますが、国立大学として基礎的研究分野を守ることや、教育や研究、社会的貢献など国立大学の使命は変わりません。

また、私たちは現在2005年、平成17年の秋を目標に、富山県内の3大学の再編統合を進めておりますが、大学

の統合は一般社会の会社の統合とは本質的に違っていません。大学の統合は、それぞれの大学の持っている特質を生かし、協力し、より研究教育機能を高め、社会貢献の役割を果たすためのものでなければなりません。

富山大学は、総合大学として県内3大学の中で最も長い伝統と多くの業績を上げ、数多くの有能な卒業生を世に送り出してきました。この歴史を生かして、新しく大きな富山大学に生まれ変わることを目標に、再編統合を進めております。やがて、この富山大学の実績を生かした素晴らしい総合大学になることを期待してください。

皆さんが富山大学の卒業生として、誇り高く胸を張って、存分に活躍して下さることを祈念して、新しい生活に旅立つ皆さんへの私からのお祝いとはなむけの言葉と致します。

平成15年 3月25日

富山大学長 瀧澤 弘

**関 係 法 令****(法 律)**

- 義務教育費国庫負担法及び公立養護学校整備特別措置法の一部を改正する法律（平成15. 3. 31官報号外第69号）

**(政 令)**

- 学校教育法の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備に関する政令（74）（平成15. 3. 26官報第3572号）
- 文部科学省組織令の一部を改正する政令（98）（平成15. 3. 28官報号外第66号）
- 国家公務員共済組合法施行令の一部を改正する政令（99）（同）
- 義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令の一部を改正する政令（111）（同）
- 日本育英会施行令の一部を改正する政令（112）（同）
- 国立学校設置法施行令の一部を改正する政令（127）（平成15. 3. 31官報号外第69号）
- 平成15年度における国民年金法における年金の額等の改定の特例に関する法律に基づく国家公務員共済組合法の年金の額の改定に関する政令（157）（同）

**(省 令)**

- 試験研究の用に供する原子炉等の設置，運転等に関する規則の一部を改正する省令（文部科学3）（平成15. 3. 17官報第3566号）
- 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令（同4）（平成15. 3. 26官報第3572号）
- 国立大学の学科及び課程に関する省令の一部を改正する省令（同5）（同）
- 児童手当事務費交付金の額の算定に関する省令の一部を改正する省令（厚生労働57）（平成15. 3. 27官報第3573号）
- 行政機関の保有する情報の公開に関する法律施行令第13条第3項第1号に掲げる行政機関等が保有する行政文書に係る開示請求等の手続に関する省令（文部科学・厚生労働・農林水産・経済産業1）（平成15. 3. 28官報第3574号）
- 文部科学省関係の行政手続等における情報通信の技術の利用に関する省令（文部科学9）（平成15. 3. 28官報

## 号外第67号)

- 行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律等の施行に伴う文部科学省関係省令の整備に関する省令（同10）（同）
- 就学義務猶予免除者の中学校卒業程度認定規則の一部を改正する省令（同12）（平成15. 3. 31官報号外第68号）
- 学校教育法施行規則の一部を改正する省令（同13）（同）
- 学校教育法施行規則等の一部を改正する省令（同15）（同）
- 専門職大学院設置基準（同16）（同）

**(告 示)**

- 平成15年度科学研究費（特定奨励費）における交付申請書の提出期限等を定める件（文部科学28）（平成15. 3. 3官報第3556号）
- 平成15年度の民間学術研究機関補助金交付申請書及び添付書類の提出期限を定める件（同29）（同）
- 平成15年度大学入学資格検定の施行期日等を定める件（同30）（平成15. 3. 12官報号外第48号）
- 行政機関の保有する情報の公開に関する法律施行令の規定に基づき，公文書館，博物館，美術館，図書館その他これらに類する機関であって，保有する歴史的若しくは文化的な資料又は学術研究用の資料について，同令の規定による適切な管理を行うものを指定した件の一部を改正する件（総務230）（平成15. 3. 27官報第3573号）
- 我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を定める件の一部を改正する件（文部科学35）（平成15. 3. 31官報号外第68号）
- 在外教育施設の認定を取り消した件（同36）（同）
- 在外教育施設の指定を解除した件（同37）（同）
- 学位の種類及び分野の変更等に関する基準を定める件（39）（同）
- 学校教育法施行令第23条の2第1項第5号の規定による分野を定める件（同40）（同）
- 大学が授業の一部を校舎及び附属施設以外の場所で行う場合について定める件（同43）（同）
- 大学設置基準第45条の規定に基づき，新たに大学等を設置する場合の教員組織，校舎等の施設及び設備の段

- 階的な整備について定める件（同44）（同）
- 大学、短期大学、高等専門学校等の設置の際の入学定員の取扱い等に係る基準（同45）（同）
- 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件の一部を改正する件（同49）（同）
- 大学院設置基準第33条の規定に基づき、新たに大学院等を設置する場合の教員組織、校舎等の施設及び設備の段階的な整備について定める件（同50）（同）
- 専門職大学院に関し必要な事項について定める件（同53）（同）
- 大学の設置等の認可申請に係る書類の様式及び提出部数（同54）（同）
- 学校教育施行規則の規定によらないで教育課程を編成することができる場合を定める件（同56）（同）

**（規 則）**

- 人事院規則14-17（国立大学教員等の技術移転事業者の役員等との兼業）の一部を改正する人事院規則（人事院14-17-1）（平成15. 3. 25官報第3571号）
- 人事院規則14-18（国立大学教員等の研究成果活用企業の役員等との兼業）の一部を改正する人事院規則（同14-18-1）（同）
- 人事院規則17-0（管理職員等の範囲）の一部を改正する人事院規則（同17-0-69）（平成15. 3. 28官報第3574号）
- 人事院規則12-0（職員の懲戒）の一部を改正する人事院規則（同12-0-8）（平成15. 3. 31官報第3575号）

**学生生活委員会（3月11日）**

（審議事項）

- (1) 平成15年度大学祭について
- (2) 前期日程入試における告示（構内規制）違反について

- (3) 富山大学大学院理工学研究科規則の一部改正について
- (4) 富山大学大学院工学研究科規則及び富山大学大学院工学研究科委員会規則を廃止する規則の制定について

**入学試験実施委員会（3月13日）**

（審議事項）

- (1) 平成15年度入試の実施状況について

**評議会（3月14日）**

（審議事項）

- (1) 平成14年度着手の大学評価の事前調査回答について
- (2) 富山大学学則の一部改正について
- (3) 富山大学安全管理委員会規則の一部改正について
- (4) 富山大学総合情報基盤センター規則の制定について
- (5) 富山大学総合情報基盤センターのセンター長及び教員選考規則の制定について
- (6) 『富山大学の教員定員の運用』の取扱いについての一部改正について

**部局長会議（3月14日）**

（審議事項）

- (1) 平成15年度大学祭に伴う休業日について
- (2) 学生の除籍について
- (3) 富山大学大学院学則の一部改正について
- (4) 富山大学理学部規則の一部改正について

**学生生活委員会（3月17日）**

（審議事項）

- (1) 富山大学大学院教育学研究科規則の一部改正について
- (2) 富山大学大学院経済学研究科規則の一部改正について

- (1) 学生の不祥事（覚せい剤取締法違反、県青少年保護育成条例違反）について

学

事

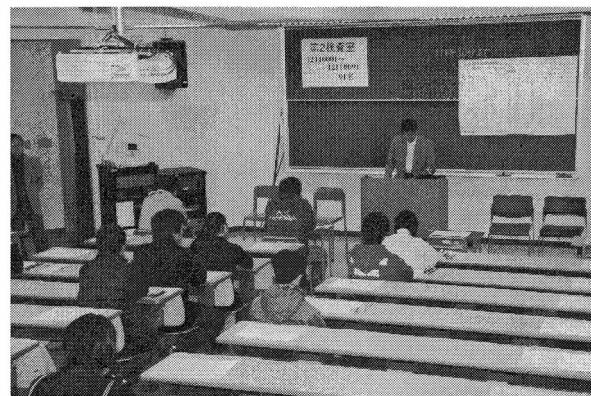
## 平成15年度入学者選抜個別学力検査（一般選抜・後期日程）を実施，一般選抜等の合格発表も完了

平成15年度入学者選抜個別学力検査（一般選抜・前期日程及び専門高校・総合学科卒業生選抜）の合格発表が、3月7日（金）午後1時から特設掲示板とホームページにおいて行われ、1,003人に合格通知が送付されました。

また、3月12日（水）には、一般選抜・後期日程の学力検査等が各学部検査場において実施され、志願者2,872人のうち1,532人が受験（受験率53%）しました。合格発表は3月21日（金）午後1時から特設掲示板とホームページにおいて行われ、433人に合格通知が送付されました。

合格者の入学手続きは、一般選抜・前期日程及び専門高校・総合学科卒業生選抜が3月14日（金）・15日（土）に、一般選抜・後期日程が3月27日（木）にそれぞれ行われ、入学手続き締切日において欠員を生じた学部・学科・課程では、28日以降に追加合格による欠員補充が実施されました。

なお、平成15年度の入学者選抜個別学力検査実施状況は巻末資料に掲載しました。



△一般選抜・後期日程で検査開始を待つ受験者(人文学部)

## 平成14年度第3回富山大学運営諮問会議を開催

平成15年度第3回富山大学運営諮問会議が3月13日（木）に開催され、会長である石坂前富山国際大学長をはじめ、委員8人が出席されました。

会議の冒頭で瀧澤学長から、前回の運営諮問会議でいただいた意見に対する本学の対応について報告があり、今回は、平成16年4月に予定されている法人化までの移行期における準備のため、今後の富山大学の運営について、法人の経営面も含めて助言いただきたい旨の挨拶がありました。

その後、本学から、国立大学の再編・統合について報告があり、各委員から以下のような意見等がありました。  
・医薬大が平成17年10月の再編・統合を目指すという機関決定をしたことが新聞等に報道されたが、3大学の統合の時期は足並みをそろえるべきであり、3大学と一緒に公表すべきでなかったか。



△第3回運営諮問会議

- ・高岡地区に設置する新学部構想を富大と高岡短大でうまくまとめてほしい。また、併せて教員養成機能を持つ新学部の構想を早く明確にしてほしい。
- ・新大学の骨格と再編・統合までの日程を県民に早く示してほしい。新山梨大学では、再編・統合のメリットを検証して、スケールメリットが生かされたこと、学部間の共同研究プロジェクトが活性化したことが言われており、県内3大学も早く統合を進めてほしい。

引き続き、「国立大学法人への移行準備について」諮問があり、本学の現状、課題について資料に基づき説明の後、主に以下の2項目について提言をいただきました。

①中期目標・中期計画（素案）について

- ・3大学の再編・統合を充分視野に入れて、3大学で足並みをそろえたものにしてほしい。
- ・富山大学としての個性、特徴を強調してほしい。
- ・中期計画に「検討を進める」という事項が多すぎる。
- ・中期計画の具体化に伴う予算を念頭においた、実効性のある計画を立ててほしい。
- ・全ての項目にすぐに意見を出すことは難しいので、委員にアンケート形式で意見を集約してはどうか。（後日、委員に文書で照会することとした。）

②経営協議会の構成等（特に外部委員）について

- ・大学の運営に精通した人が適任と思う。
- ・現在の諮問会議委員よりもう少し下のクラスが動きやすい。
- ・民間では監査の権限が強いので、人選は慎重に。
- ・もう少し時間をかけて議論したいので、法人化の準備に関する他の事項も含めて次回以降も継続して意見交換したい。

なお、出席の委員は次の方々です。（五十音順）

吾妻 一興（宮城教育大学副学長）  
石坂 誠一（前富山国際大学長）  
井上 孝美（放送大学学園理事長）  
上野 隆三（北日本新聞社代表取締役会長）  
中尾 哲雄（富山経済同友会代表幹事）  
平能富太郎（元北陸銀行取締役）  
福岡 隆（富山県教育委員会教育長）  
山田 圭藏（北陸経済連合会会長）

## 大学院理工学研究科（博士後期課程）学位記授与式を挙行

3月18日（火）に学長室において、富山大学大学院理工学研究科（博士後期課程）学位記授与式が挙行されました。

式には、修了認定者6人が出席し、瀧澤学長から博士の学位記が授与されました。



△瀧澤学長から学位記を授与



## 教育学部とロシア連邦ネヴェリスキー海事国立大学が 学術交流協定を締結

3月27日（木）に教育学部とロシア連邦のネヴェリスキー海事国立大学との間で学術交流協定が締結されました。調印式はウラジオストクにある同大学の学長室で行われ、同大学副学長、国際部長及び教育学部両宮洋司教授立会いの下で、塚野州一教育学部長とセディーフ学長が調印し、プレゼントを交換しました。そして、和やかなムードの中で今後の友好増進の約束が交わされました。

この協定は通常の学術交流協定に加え、両大学の学生が短期間、相手大学（含 附属学校園）で異文化研修を受けられるよう工夫した学生交流の実施協定を包含しています。

その後の副学長主催の昼食会では、大学評価、再編統合が両大学の共通の課題としてあることが話われ、両大学の出席者たちは、有意義で親密な時間を過ごしました。

同大学はロシア極東における唯一の伝統ある海事専門大学ですが、現在は環日本海地域の言語文化を専攻する東アジア学部や産業心理学部などに力を入れて特色ある総合大学の方向を模索しています。なお、同大学の大型

帆船を使った海洋観測事業への参加を日本海側の各大学研究者に呼びかけるなど積極的な動きをしています。これを機会に教育学部だけではなく、全学的な交流が期待されます。



△ネヴェリスキー海事国立大学学長室にて調印

## 人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏名	異動前の所属官職	異 動 内 容
転 任	15. 3. 1	今田 裕一	富山医科薬科大学業務部施設課工営係主任	施設課工営係主任
	"	中島 一樹	国立療養所中部病院長寿医療研究センター老人支援機器開発部看護・介護機器開発室長	助教授 工学部（電気電子システム工学科通信制御工学）
勤務延長	15. 3. 1	唐 政	教授 工学部（知能情報工学科メディア情報工学）	任期の定めのない職員とする

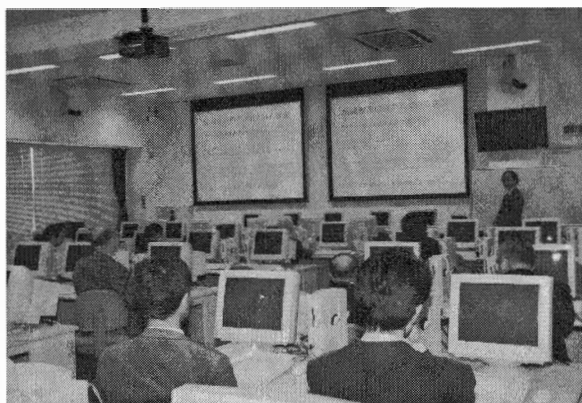
## 学 内 諸 報

## 総合情報処理センターが定期講演会を開催

3月4日（火）に総合情報処理センターにおいて、定期講演会が開催され、川合慧東京大学大学院総合文化研究科教授が「2006年からの大学における一般情報処理教育を如何に変えるべきか」と題して講演されました。

平成15年度から高等学校において必修科目「情報」が実施され、3年後の18年度にはこの「情報」科目を履修してきた学生が入学することに伴い、本学でも一般情報処理教育の内容、位置付けを現在の「情報リテラシー」教育から再検討する必要に迫られています。このような状況の中で、文部科学省の委嘱を受けた情報処理学会の「大学等における一般情報処理教育の在り方に関する調査研究委員会」では、平成12年度と13年度にわたって我が国の一般情報処理教育の現状を調査し、標準カリキュラムの在り方等についての調査研究を行い、平成14年3月に報告書を公表しています。

本講演会では、上記調査委員会の委員長であった川合教授から、今後のあるべき姿や授業内容等について詳しい説明と提言があり、出席者は熱心に聴講しました。



△定期講演会の模様

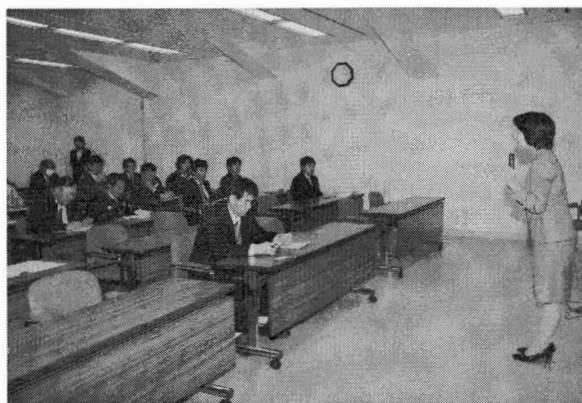
## 職場のさわやかマナー研修会を開催

3月7日（金）、黒田講堂において、職場のさわやかマナー研修会「職場のマナー～職場のイメージはあなたが作る～」が開催されました。

この研修は、講師に（株）NTTマーケティングアクト北陸の眞木克子氏を招き、国立立山少年自然の家及び本学事務職員を対象に行われたものです。

眞木講師は、マナーの基本として、態度・動作は目に見える言葉であり、言葉は心遣いであると説明し、その後、2人1組で行われた姿勢・表情による印象の確認や、電話での対応において、言葉だけの伝達の難しさや電話の対応、取次ぎ、復唱、確認等について指導がありました。

講義終了後、参加者から、日頃勤務の中で思っていることについて疑問や質問が出され、活発な質疑応答が行われました。



△講演する眞木克子氏

## 教養教育に関する講演会を開催

3月10日（月）、伊藤正之名古屋大学副総長を講師に迎え、教養教育に関する講演会が黒田講堂で開催されました。

この講演会は、本学をはじめ富山医科薬科大学、高岡短期大学の富山県内国立3大学の再編・統合が協議されている中で、新大学における教養教育の在り方について教職員の認識を深めることを目的に3大学の教職員を対象として催されたものです。

伊藤講師は「教養教育の在り方」と題して講演され、名古屋大学における全学教育の改編を中心とした教養教育実施体制改善の取組事例を詳しく紹介されました。3大学からは約150名が出席し、熱心に聴講しました。

本学が、新大学における教養教育実施体制として提唱している共通教育院構想は、名古屋大学が平成13年に学内措置として設置した教養教育院を例としていることから、講演終了後の質疑応答の時間には活発な質問があり、教職員の関心の深さがうかがえました。



△講演する伊藤正之名古屋大学副総長

## 極東地域研究センターが第5回セミナーを開催

極東地域研究センターは、3月18日（火）、黒田講堂において、第5回セミナーを開催しました。

同センターでは、ロシア労働市場に関する研究を進めていることから、今回のセミナーも昨年に引き続いて「ロシア地域労働市場への視覚（2）」をテーマとし、より大きな視野に立った市場経済化以降のロシア労働市場の変貌や若者の失業問題を取り上げました。

セミナーでは、ロシア・サンクトペテルブルク国立大学のセルゲイ・スティーリン教授と堀江典生極東地域研究センター助教授が、「ロシアの世界経済への統合と労働市場へのインパクト」及び「変容するロシアの若年労働市場」と題してそれぞれ報告を行い、その後、山井理人北海道大学スラブ研究センター教授とアンドレイ・ペロフ福井県立大学経済学部助教授をコメンテーターにして活発な質疑応答が行われました。



△講演するセルゲイ・スティーリン ロシア・サンクトペテルブルク大学教授

## セクシュアル・ハラスメント相談員研修会を開催

3月18日（火）、事務局大会議室において、セクシュアル・ハラスメント等に関する相談員を対象とした第1回相談員研修会が開催されました。

この研修会は、相談員としてのカウンセラー能力の資質向上を図るとともに、今後の大学のセクシュアル・ハラスメント防止・解決の問題点の共通認識を持つため開催されたものです。

研修会では、志村恵金沢大学助教授の指導の下、相談員15名が4つのグループに分かれて、自己紹介、フォト・ランゲージ、ロールプレイによる参加型ワークショップの手法により、自分自身の偏見やステレオ・タイプのものの考え方に気づいたり、相談員の中心課題である相談の際に重要なスキルである「傾聴」を実際に体験しました。

相談員は、約2時間にわたり熱心に研修を受講し、最

後に相談員として現在困っている課題や問題点等を出し合い全体で共有しながら、今後の相談員としての資質向上を図るための活発な意見交換を行いました。



△研修の様様

## 工学部が第2回外部評価委員会を開催

工学部の第2回外部評価委員会が、3月20日（木）に同学部大会議室において開催されました。

今回は、国立大学の法人化を控え、工学部及び大学院理工学研究科における教育研究に係る取組みの現状と課題及び将来構想等に対して、学外有識者の忌憚のない意見を聞くため開催されたものです。

工学部では、評価の継続性を重視するため、前回の委員10名を含め、次の13氏に委員を委嘱しました。

林勇二郎（金沢大学長）、真田雄三（北海道大学名誉教授）、架谷昌信（名古屋大学理工科学総合研究センター長）、増本健（(財)電気磁気材料研究所長）、松村文夫（石川工業高等専門学校長）、岩見基弘（岡山大学学長補佐）、村上正紀（京都大学大学院工学研究科教授）、鈴木晴（コーセル(株)代表取締役会長）、石原實（北陸電力(株)副社長）、内田賀久（立山マシン(株)取締役副社長）、北野芳則（YKK AP(株)代表取締役副会長）、杉野博（(株)スギノマシン取締役最高顧問）、竹田雄一郎（第一ファインケミカル(株)代表取締役社長）

委員会冒頭に、前回委員長である林氏を委員長に選出した後、龍山学部長から、この3年間精力的に取り組んできた学部や大学院の自己点検評価、学生による授業評価、教員の教育業績評価（試行）及び教育環境の整備等

の紹介と、少人数教育やJABEE等、各学科が独自に取り組んでいる状況の詳細について説明があり、引き続き質疑応答、意見交換及び関連施設の視察が行われました。

委員からは、「この3年間における努力には目を見張るものがあり評価できるが、地方大学としての特色をもっと出すべきであり、研究成果を地域社会に積極的に還元するよう努めるべき」等、辛口の指摘がありました。

工学部では、今後、この貴重な意見や提言を報告書にまとめ、検討を加えたいうで中期目標・中期計画に反映させていくこととしています。



△工学部外部評価委員会（3月20日）

## 平成14年度永年勤続者表彰及び退職者を囲む懇談会を開催

平成14年度永年勤続者表彰及び退職者を囲む懇談会が3月27日（木）午後4時から事務局大会議室において開催されました。

初めに、文部科学省永年勤続者表彰が行われ、瀧澤学長から、新田三智也総務部長並びに玉村喜代治学生部長に表彰状と記念品が授与されました。

続いて、瀧澤学長から、退職者一人一人に記念品の贈呈が行われた後、退職者の方々に対して、永年にわたり文部科学省機関並びに本学に精励されたことについて深く感謝する旨の挨拶がありました。

その後、退職者を代表して矢澤英一人文学部教授から挨拶があり、式を終了しました。

引き続き、記念撮影が行われた後、会場を小会議室に移し退職者を囲んで懇親会が催され、和やかな雰囲気の中、古き良き思い出に話が弾んでいました。

なお、退職者の方々は次のとおりです。

総務部 部長	新田三智也
電話交換手長	大場チイ子
〃 専門職員	赤井 弘人

経理部 課長補佐	松下 義春
学生部 部長	玉村喜代治
施設課 主任	森田 昌夫
附属図書館 係員	角井 隼子
人文学部 教授	小谷 仲男
〃 〃	矢澤 英一
教育学部 〃	安達 勇作
〃 〃	安藤 修平
〃 〃	奥村 義雄
〃 〃	中井 学
〃 〃	中村 義朗
〃 主任	山本 悦子
教育学部附属幼稚園副園長	常川 允子
工学部 助教授	島崎 利治
〃 事務長	中田 教
元総務部 専門職員	地崎 昇
元経理部 課長	加賀見 實

(注) 退職者を囲む懇談会出席者の記念写真は裏表紙に掲載しました。

## 退官記念最終講義の実施

本年3月末をもって退官される教授の最終講義が人文学部で行われ、多数の学生、教職員、OBが出席し、終始熱心に聴講しました。

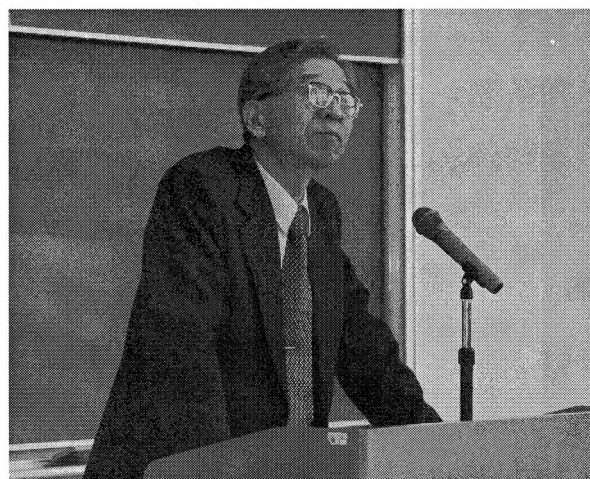


△人文学部 小谷仲男 教授

日時 3月15日（土）15:00～

場所 人文学部6番講義室

題目 ガンダーラ仏教における廻向儀礼



△人文学部 矢澤英一 教授

日時 3月21日（金）15:00～

場所 人文学部6番講義室

題目 築地小劇場とチェーホフ

# (海) (外) (渡) (航) (者)

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡航先国	目 的	期 間
外国出張	人文学部	助教授	竹 内 潔	フランス, カメルーン, ポルトガル	アフリカ熱帯森林住民の文化保全と内発的発展に関する現地調査、研究連絡及び資料収集	15. 2. 7 } 15. 3. 16
	工学部	教 授	唐 政 中	中 国	脳型計算機に関する研究打合せ、資料収集	15. 3. 1 } 15. 3. 8
	極東地域研究センター	教 授	森 岡 裕	韓 国	環日本海地域学術情報のネットワーク拡充に関する調査研究	15. 3. 2 } 15. 3. 5
	工学部	教 授	坂 井 純 一	イ タ リ ア	研究打合せ	15. 3. 2 } 15. 3. 16
	極東地域研究センター	教 授	酒 井 富 夫	韓 国	環日本海学術ネットワークに関する基礎調査	15. 3. 2 } 15. 3. 5
	工学部	講 師	宮 武 滝 太	韓 国	情報交換及び資料収集	15. 3. 3 } 15. 3. 7
	水素同位体科学研究センター	教 授	松 山 政 夫	ドイツ, イギリス	研究打合せ	15. 3. 8 } 15. 3. 23
	水素同位体科学研究センター	講 師	鳥 養 祐 二	ド イ ツ	トリチウム測定	15. 3. 8 } 15. 3. 23
	極東地域研究センター	教 授	酒 井 富 夫	中 国	中国南部地域におけるトウモロコシ流通に関する現地調査	15. 3. 9 } 15. 3. 13
	経済学部	助教授	岸 本 壽 生	中 国	上海SMNに関する調査	15. 3. 16 } 15. 3. 22
	教育学部	助教授	深 見 友 紀 子	韓 国	音楽教育用コンテンツの作製状況・使用状況調査のため	15. 3. 17 } 15. 3. 22
	極東地域研究センター	教 授	森 岡 裕	ロ シ ア	ロシア極東のマクロ・ミクロ経済情勢に関する資料・情報の収集	15. 3. 19 } 15. 3. 22
	教育学部	助教授	野 平 慎 二	ド イ ツ	現代ドイツ教育学における美的教育論の調査	15. 3. 20 } 15. 3. 31
	教育学部	教 授	山 西 潤 一	ア メ リ カ 合 衆 国	情報技術と教師教育の国際会議に出席、資料収集	15. 3. 22 } 15. 3. 31
	教育学部	講 師	上 山 輝	ア メ リ カ 合 衆 国	教師教育についての情報技術学会(SITE)2003に出席、資料収集	15. 3. 22 } 15. 3. 29
	教育学部	教 授	諸 岡 晴 美	中 国	紡織およびアパレルに関する市場調査及び資料収集	15. 3. 25 } 15. 4. 1
	教育学部	講 師	高 橋 純	中 国	中国教育工学学校実践フォーラムに出席・発表	15. 3. 25 } 15. 3. 29
	教育学部	助教授	藤 原 孝 章	タ イ	NGO支援プロジェクト視察のため	15. 3. 26 } 15. 4. 1
	教育学部	教 授	雨 宮 洋 司	ロ シ ア	大学間協定締結調印のため	15. 3. 26 } 15. 3. 29
	教育学部	教 授	塚 野 州 一	ロ シ ア	大学間協定締結調印のため	15. 3. 26 } 15. 3. 29
海外研修	経済学部	教 授	清 家 彰 敏	中 国	大学発イノベーション調査：「地域イノベーションの成功要因及び促進政策に関する調査研究	15. 3. 2 } 15. 3. 9

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡航先国	目 的	期 間
海外研修	人文学部	助教授	青 木 恭 子	ロ シ ア	研究資料収集	15. 3. 2 } 15. 3. 23
	人文学部	助教授	大 西 宏 治	ア メ リ カ 合 衆 国	アメリカ地理学会に出席, GIS教育に関する情報収集	15. 3. 3 } 15. 3. 11
	人文学部	教 授	村 井 文 夫	フ ラ ン ス	フランス革命時における神秘主義的思想に関する文献調査	15. 3. 12 } 15. 4. 4
	教育学部	講 師	高 橋 純	シ ン ガ ポ ー ル	学校教育の情報化に関する調査・資料収集	15. 3. 13 } 15. 3. 17
	人文学部	助教授	三 浦 哲 男	イ ギ リ ス	P F I の法的問題点の検討	15. 3. 16 } 15. 3. 27
	経済学部	教 授	澤 井 啓	イギリス, ベルギー	E C 競争法と仲裁に関する研究	15. 3. 16 } 15. 3. 27
	工 学 部	教 授	岩 城 敏 博	ア メ リ カ 合 衆 国	第6回アメリカ機械学会・日本機械学会熱工学合同会議に出席	15. 3. 18 } 15. 3. 22
	教育学部	助教授	千 田 恭 子	ハンガリー, オーストリア, チェコ	教会音楽と宮廷音楽に関する調査及び資料収集	15. 3. 19 } 15. 3. 29
	経済学部	教 授	小 倉 利 丸	南 ア フ リ カ	APCによる Exective Board Meeting に出席	15. 3. 23 } 15. 3. 30
	工 学 部	教 授	椿 範 立	タ イ	バイオマスからの燃料製造共同研究に関する打合せ及び現地調査	15. 3. 26 } 15. 3. 31
	人文学部	講 師	林 夏 生	韓 国	現代日韓関係に関する調査・研究・資料収集	15. 3. 27 } 15. 4. 2
	工 学 部	助教授	佐 貫 須 美 子	韓 国	共同研究打合せ及び調査	15. 3. 27 } 15. 3. 31
	人文学部	助教授	呉 人 恵	ロ シ ア	海岸コリャークの漁業復興活動に関する資料収集及び情報交換	15. 3. 30 } 15. 4. 6
	経済学部	教 授	小 倉 利 丸	ア メ リ カ 合 衆 国	米国自由人権協会主催のコンピュータ, 自由及びプライバシーに関する会議に出席	15. 3. 31 } 15. 4. 7

# 主 要 行 事

## 本 部

- 3月4日 構想策定委員会（於；富山医科薬科大学）
- 5日 臨時東海・北陸地区国立大学事務局長会議  
（於；メルパルクNAGOYA）  
産学官連携と技術移転に関するセミナー
- 6日 再編・統合検討委員会
- 7日 法人化準備委員会  
職場のさわやかマナー研修会  
個別学力検査・前期日程合格発表  
低温液化室運営委員会
- 10日 教養教育講演会  
事務局連絡会  
日本育英会業務連絡協議会（於；テレビアホール）
- 11日 構想策定委員会（於；本学）  
自己点検評価委員会  
学生生活委員会  
「21世紀型産学連携手法の構築に関するモデル事業」報告会（於；東京）
- 12日 個別学力検査・後期日程  
運営会議
- 13日 第3回富山大学運営諮問会議  
入学試験実施委員会
- 14日 部局長会議  
大学院委員会  
評議会
- 14日
- ～15日 前期日程入学手続き
- 15日 臨時東海・北陸地区国立大学長会議（於；名古屋観光ホテル）
- 17日 学生生活委員会  
事務局連絡会
- 18日 構想策定委員会（於；富山医科薬科大学）  
事務協議会  
理工学研究科学位記授与式
- 20日 富山県インターンシップ合同会議（於；富山第一ホテル）
- 21日 個別学力検査・後期日程合格発表
- 24日 事務局連絡会

- 25日 学位記授与式  
ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー幹事会
- 27日 文部科学省永年勤続者表彰及び退職者懇談会  
後期日程入学手続き
- 28日 地域貢献推進大学シンポジウム（於；東京）
- 31日 構想策定委員会（於；本学）

## 人 文 学 部

- 3月3日 学部教務委員会  
高岡短期大学との話合い
- 5日 学部法人化対応委員会  
研究科委員会  
教授会
- 6日 学部国際交流委員会
- 13日 学部総務委員会
- 17日 学部将来計画委員会  
学部自己点検評価委員会
- 18日 学部法人化対応委員会  
学部研究評価対応委員会
- 19日 研究科小委員会  
学部教務委員会  
学部国際交流委員会
- 20日 教授会
- 26日 学部研究評価対応委員会
- 28日 学部法人化対応委員会

## 教 育 学 部

- 3月3日 学部学生生活委員会
- 4日 学部入学試験委員会  
教育学部及び附属学校園共同研究プロジェクト運営委員会ワーキンググループ会議
- 5日 研究科委員会小委員会  
学部教務委員会  
教授会  
研究科委員会
- 6日 教育学部及び附属学校園共同研究プロジェクト運営委員会
- 7日 附属養護学校卒業証書授与式



- |  |                           |
|--|---------------------------|
| 11日 附属養護学校評議員会                                     | 図書等委員会                    |
| 12日 学部将来構想委員会                                      | 就職指導委員会                   |
| 13日 附属学校運営委員会                                      | 学部教務委員会                   |
| 附属幼稚園修了証書授与式                                       | 学部入学試験委員会                 |
| 14日 附属小学校卒業証書授与式                                   | 学部自己点検評価委員会               |
| 附属中学校評議員会  | 財務委員会                     |
| 17日 附属中学校卒業証書授与式                                   | 情報処理委員会                   |
| 附属幼稚園終業式   | 将来構想等検討委員会                |
| 18日 教育方法改善委員会                                      | 生涯学習・広報委員会                |
| 19日 附属小学校及び附属中学校修了式                                | 学部国際交流委員会                 |
| 20日 学部入学試験委員会                                      | 25日 経済学部・大学院経済学研究科学学位記授与式 |
| 教授会  |                           |
| 学部教務委員会  |                           |
| 学部国際交流委員会  |                           |
| 学部学生生活委員会  |                           |
| 人事教授会  |                           |
| 附属養護学校修了式  |                           |
| 27日 富山大学教育学部とロシア連邦・ウラジオストク・ネヴェリスキー海事国立大学との学術交流協定締結 |                           |

経 済 学 部
---------

- 3月4日 学部入学試験委員会
- 5日 人事教授会  
研究科委員会  
教授会
- 10日 学部教務委員会
- 11日 将来構想等検討委員会
- 12日 学部学生生活委員会
- 13日 人事教授会  
教授会
- 17日 人事基本問題検討委員会  
図書等委員会
- 18日 将来構想等検討委員会  
任期制検討委員会
- 19日 学部教務委員会  
学部総務委員会
- 20日 学部入学試験委員会  
学部学生生活委員会  
人事教授会  
教授会
- 学部国際交流委員会
- 24日 学部学生生活委員会

理 学 部
-------

- 3月5日 理工学研究科博士前期課程理学部会  
理工学研究科博士後期課程部会  
理工学研究科委員会
- 13日 学部就職指導委員会
- 14日 学部法人化対応委員会  
学科長会議
- 20日 理工学研究科博士前期課程理学部会  
教授会  
人事教授会  
理工学研究科博士前期課程理学部会専任教授会  
理工学研究科博士後期課程部会

工 学 部
-------

- 3月3日 学部学生生活委員会  
学部図書委員会  
大学院入試（博士前期課程）の推薦入試に関する検討会
- 4日 学部入試検討委員会
- 5日 教授会  
専任教授会  
理工学研究科博士前期課程工学部会  
工学研究科博士後期課程委員会  
工学研究科委員会  
理工学研究科博士後期課程部会  
理工学研究科委員会
- 6日 工学部任期制検討委員会
- 10日 学部自己点検評価委員会
- 13日 工学部任期制検討委員会

- 17日 学部学生生活委員会  
大学院入試（博士前期課程）の推薦入試に関する検討会  
学長と工学部教官との懇談会
- 18日 学部教務委員会
- 19日 教授会  
専任教授会  
理工学研究科博士前期課程工学部会  
理工学研究科博士後期課程部会（工学系）
- 20日 工学部外部評価委員会  
理工学研究科博士後期課程部会
- 24日 学部紀要委員会
- 26日 学部就職指導委員会

## 生涯学習教育研究センター

3月17日

～31日 平成15年度前学期オープン・クラス受講希望  
調書受付

29日 大学開放研究会

## 総合情報処理センター

3月4日 講演会

題目；2006年からの大学における一般情報処理教育を如何に変えるべきか

講師；川合慧東京大学教授

24日 総合情報基盤センター設置準備に係る運営委員会

## 地域共同研究センター

- 3月3日 技術相談（於；新湊市）
- 11日 企業見学（（株）タカギセイコー）
- 12日 運営委員会（持ち回り）
- 14日 企業見学（（株）SMK）
- 19日 運営委員会（持ち回り）

## 極東地域研究センター

3月18日 極東地域研究セミナー

資

料

平成15年度富山大学入学者選抜試験実施状況総括表

学部	学 科 ( 課 程 ) 等	募 集 人 員 a (人)	志 願 者 数		受 験 者 数		合 格 者 数 (人)		入 学 者 (人)	入 学 者 内 訳						備 考
			b (人)	(b/a倍)	c (人)	(c/a倍)	うち追加 合格者数	男子		女子	県内	県外	現役	既卒等		
人文学部	人 文 学 科	60	289	(4.8)	221	(3.7)	70		64	36	28	10	54	51	13	
	国 際 文 化 学 科	50	306	(6.1)	245	(4.9)	60		53	18	35	14	39	42	11	
	言 語 文 化 学 科	75	369	(4.9)	273	(3.6)	89	2	76	12	64	26	50	68	8	
	計	185	964	(5.2)	739	(4.0)	219	2	193	66	127	50	143	161	32	
教育学部	学 校 教 育 系	23	85	(3.7)	59	(2.6)	25		24	5	19	18	6	21	3	
	教 育 教 員 養 成 課 程	7	48	(6.9)	37	(5.3)	7		7	1	6	3	4	6	1	
	言 語 ・ 社 会 系	25	163	(6.5)	125	(5.0)	27	2	25	12	13	10	15	17	8	
	自 然 ・ 生 活 系	25	118	(4.7)	77	(3.1)	28	3	25	12	13	6	19	18	7	
	芸 術 ・ 体 育 系	20	180	(9.0)	148	(7.4)	24	1	23	10	13	9	14	21	2	
	生 涯 教 育 課 程	10	47	(4.7)	40	(4.0)	13	1	11	2	9	5	6	11	0	
	発 達 臨 床 専 攻	10	47	(4.7)	40	(4.0)	13	1	11	2	9	5	6	11	0	
	生 涯 ス ポ ー ツ 専 攻	10	126	(12.6)	90	(9.0)	10		10	5	5	4	6	10	0	
	人 間 環 境 専 攻	20	94	(4.7)	58	(2.9)	22		21	3	18	7	14	17	4	
	情 報 教 育 課 程	20	82	(4.1)	63	(3.2)	20		20	10	10	12	8	18	2	
マ ル チ メ デ ィ ア 芸 術 専 攻	10	43	(4.3)	33	(3.3)	12	1	11	4	7	5	6	9	2		
計	170	986	(5.8)	730	(4.3)	188	8	177	64	113	79	98	148	29		
経済学部	経 済 学 科	135	506	(3.7)	331	(2.5)	166		141	100	41	37	104	113	28	
	昼 間 主 コ ー ス	115	461	(4.0)	317	(2.8)	140		123	60	63	49	74	107	16	
	経 営 法 学 科	95	538	(5.7)	388	(4.1)	119		101	50	51	34	67	86	15	
	小 計	345	1,505	(4.4)	1,036	(3.0)	425	0	365	210	155	120	245	306	59	
	夜 間 主 コ ー ス	20	97	(4.9)	72	(3.6)	37		23	17	6	16	7	17	6	
	経 済 学 科	20	133	(6.7)	88	(4.4)	39		27	17	10	17	10	19	8	
	経 営 法 学 科	20	170	(8.5)	125	(6.3)	41		25	14	11	12	13	19	6	
小 計	60	400	(6.7)	285	(4.8)	117		75	48	27	45	30	55	20		
計	405	1,905	(4.7)	1,321	(3.3)	542	0	440	258	182	165	275	361	79		
理学部	数 学 科	50	234	(4.7)	223	(4.5)	61	5	55	47	8	10	45	42	13	
	物 理 学 科	40	131	(3.3)	97	(2.4)	53	2	48	46	2	5	43	39	9	
	化 学 科	35	151	(4.3)	112	(3.2)	46	1	43	29	14	9	34	33	10	
	生 物 学 科	35	160	(4.6)	127	(3.6)	42	1	37	18	19	10	27	23	14	
	地 球 科 学 科	40	121	(3.0)	120	(3.0)	49	4	40	32	8	2	38	29	11	
	生 物 圏 環 境 科 学 科	30	138	(4.6)	92	(3.1)	35		33	16	17	8	25	27	6	
計	230	935	(4.1)	771	(3.4)	286	13	256	188	68	44	212	193	63		
工学部	電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科	88	220	(2.5)	213	(2.4)	111		97	93	4	36	61	84	13	
	知 能 情 報 工 学 科	78	222	(2.8)	214	(2.7)	94		82	77	5	29	53	72	10	
	機 械 知 能 シ ス テ ム 工 学 科	88	356	(4.0)	350	(4.0)	113	1	94	91	3	28	66	82	12	
	物 質 生 命 シ ス テ ム 工 学 科	151	870	(5.8)	622	(4.1)	182		169	134	35	38	131	134	35	
	計	405	1,668	(4.1)	1,399	(3.5)	500	1	442	395	47	131	311	372	70	
合 計	1,395	6,458	(4.6)	4,960	(3.6)	1,735	24	1,508	971	537	469	1,039	1,235	273		
(参考)平成14年度		1,395	6,716	(4.8)	5,229	(3.7)	1,734	23	1,485	908	577	481	1,004	1,231	254	
増 減		0	-258		-269		1	1	23	63	-40	-12	35	4	19	

(注)上記の数は、推薦入学、帰国子女・社会人特別選抜、専門高校卒業生選抜の数を含み、外国人留学生の数は含まない。

## 平成15年3月卒業生数

## ◎学 部

学 部	学 科 (課 程)	入 学 年 度								計
		13	12	11	10	9	8	7	6	
人文学部	人 文 学 科	4		73	2	2				81
	国 際 文 化 学 科	2		51 (3)	4	1				58 (3)
	言 語 文 化 学 科	3		53	6					62
	計	9		177 (3)	12	3				201 (3)
教育学部	学校教育教員養成課程			100	3	3				106
	生涯教育課程			32						32
	情報教育課程			28 (1)						28 (1)
	計			160 (1)	3	3				166 (1)
経済学部	昼間	経 済 学 科	3		124	17	7			151
		主コ 経 営 学 科	4		115 (7)	8 (1)	1			128 (8)
	一ス	経 営 法 学 科	2		88 (1)	7	1	1		99 (1)
		小 計	9		327 (8)	32 (1)	9	1		378 (9)
	夜間	経 済 学 科	2	1	17	1				21
		主コ 経 営 学 科	1		18					19
	一ス	経 営 法 学 科	2		11	1				14
		小 計	5	1	46	2				54
	計	14	1	373 (8)	34 (1)	9	1			432 (9)
	理学部	数 学 学 科			33	3				
物 理 学 科				28	5					33
化 学 学 科		3		32	2					37
生 物 学 科		3		29	2	1				35
地 球 科 学 科				33	1	2	1			37
生 物 圏 環 境 科 学 科		1		24	3					28
計		7		179	16	3	1			206
工学部	電気電子システム工学科	7		43	15	3				68
	知能情報工学科	10	1	69	7	1				88
	機械知能システム工学科	7 (1)		76 (1)	14 (1)	2				99 (3)
	物質生命システム工学科	10 (1)		108	21	6				145 (1)
	電子情報工学科							2		2
	機械システム工学科						1	1	1	3
	計	34 (2)	1	296 (1)	57 (1)	12	1	3	1	405 (4)
合 計	64 (2)	2	1185 (13)	122 (2)	30	3	3	1	1410 (17)	

(注) 1. ( )内は、外国人留学生で内数

2. 入学年度の平成13、12年度入学の卒業者は、3年次編入学者

## 平成15年3月修了者数

◎大学院

研究科	専攻	入 学 年 度				計	
		13	12	11	9		
人文科学研究科	文化構造研究専攻	11(2)	1	1		13(2)	
	地域文化研究専攻	2	1	1		4	
	計	13(2)	2	2		17(2)	
教育学研究科	学校教育専攻	5				5	
	教科教育専攻	27		1		28	
	計	32		1		33	
経済学研究科	地域・経済政策専攻	7(6)	1(1)			8(7)	
	企業経営専攻	12(10)	2			14(10)	
	計	19(16)	3(1)			22(17)	
理工学研究科	前期	数学専攻	9				9
		物理学専攻	17				17
		化学専攻	17(1)				17(1)
		生物学専攻	9				9
		地球科学専攻	11				11
		生物圏環境科学専攻	7(2)				7(2)
		小計	70(3)				70(3)
	中期	電気電子システム工学専攻	29(2)				29(2)
		知能情報工学専攻	23(5)				23(5)
		機械知能システム工学専攻	37(1)				37(1)
		物質生命システム工学専攻	56(2)				56(2)
		電子情報工学専攻		2			2
		機械システム工学専攻		1			1
		小計	145(10)	3			148(10)
	計	215(13)	3			218(13)	
	後期	システム科学専攻	1(1)	2(2)			3(3)
		物質科学専攻		2(1)			2(1)
		エネルギー科学専攻		2			2
		生命環境科学専攻		3(1)	2		5(1)
		計	1(1)	9(4)	2		12(5)
計	216(14)	12(4)	2		230(18)		
工学研究科	後期	システム生産工学専攻				1	1
	計					1	1
合計		280(32)	17(5)	5	1	303(37)	

(注) 1. ( )内は、外国人留学生で内数

## 平成14年度大学院研究科修了者一覧

## 【人文科学研究科(修士課程)】

専攻	氏名	論文題目
文化構造研究	井出靖夫	古代東北地方北部における交流と地域差 －生産・集落遺跡の分析を中心として－
	内山萬知子	カントの空間論
	甲斐英高	根岸競馬場の形成と借地料 －借地料減額交渉外務省史料を中心として－
	岸田徹	考古学における地中レーダ探査 －その応用と土壌の比誘電率測定による解析－
	田村愛火	富山県港湾地域における日本人とロシア人の相互認識と「共存」 －短期滞在型外国人との「共存」に向けた新たな視点から－
	八田菜美子	沖縄における道教的信仰 －道教受容の歴史と久米至聖廟を中心とした現在の信仰について－
	藤田富士夫	球状耳飾の研究
	藤村裕子	クリントン政権の医療制度改革 －国民皆医療保険制度導入の試み－
	松澤博紀	1920年代初頭の植民地期朝鮮における初等教育の実態
	宮川俊輔	カントにおける善意志と徳
	山口欧志	南関東弥生社会の空間構造とその特質 －GISによる考古空間の解析と解釈－
	魏名婕	中国・日本におけるイプセン現象の対比(1910年代) －胡適・森鷗外のイプセン紹介を中心にして－
	高連云	中日農村女性の役割変化に関する比較研究
地域文化研究	寺崎央子	中世における「童」観
	中山真理子	Reconsideration of <i>Dangling Man</i> : Focus on New York Intellectuals' Ideas From 1930's to 1940's
	馬瀬茂	ネヴィル・チェンバレンの宥和政策と第二次世界大戦
	丸本真史	七、八世紀、中央アジアにおける傭兵 －シャーキリーヤ(柘羯)－

## 【教育学研究科(修士課程)】

専攻	専修	氏名	論文題目
学校教育	学校教育	内山真之	学校教育における体験学習に関する研究
		黒川雅代	総合的な学習の時間に対する教師の考え方が子どもに及ぼす影響
		長木貴嗣	「学校と地域社会との連携についての研究」－コミュニティスクールの視点から－
		松田由美	小学校における校内交流教育に関する研究
		安井慶祐	無気力感を伴う不登校生徒の一指導事例について
教科教育	国語教育	恒田幸子	国語科における「自ら学ぶ力」をつける指導のあり方
		牧野晃	「伝え合う力」をはぐくむ指導の研究
		山崎太志	情報化社会における高等学校国語科教育のあり方

	大 友 周 平	電子計算機使用者の語彙
社会科教育	太 田 ちはる	小学校社会科における人権学習のあり方に関する研究
数 学 教 育	高 信 智加子	中学校数学教育における Web 教材の活用
	中 井 友紀子	授業場面における数学的な考え方の指導に関する一考察
	吉 森 昌 美	文字利用の意義に関する生徒の理解
音 楽 教 育	神 田 聖 子	F.プーランク室内楽曲を解析するー調性を定量する試みー
	野 上 治 子	これからの音楽科教育と電子メディアの活用
	宮 下 芳 明	分散和音の形態とその効果
	村 田 千 春	「小学校音楽科教育における雅楽の導入についての提言」
美 術 教 育	沼 田 友 恵	絵画における 3 件モチーフ設定の意味と美的効果について
	松 崎 洋 子	アレクサンダー・カルダーの研究ー空間と構造の視点からー
	森 下 麻梨絵	人物画における<弧>に関わる諸問題
保 健 体 育	奥 村 慎	最大酸素摂取量とランニングの経済性から見た 1 5 0 0 m の記録向上への影響に関する研究
	尾 崎 斉	7 分間の自転車駆動にみられるクレペリン精神作業成績に及ぼす影響
	河 合 洋 昇	競歩にみられる規則変遷と競技成績に関する研究
	林 文 男	高齢者における下肢筋力トレーニング, ウォーキングの効果に関する研究
技 術 教 育	森 田 和 延	野外での学習を支援する情報メディア環境に関する研究
家 政 教 育	長 越 美根子	消費者の立場から考えるメディアリテラシー教育に関する研究
	松 崎 里 美	生活リズムの乱れが覚醒時の生活行動や心身状態に及ぼす影響
	森 川 真 路	住空間の快適性に関する研究
英 語 教 育	清 水 義 彦	Effective Use of TV Conference System to Enhance Students' Positive Attitude toward Oral Communication.
	中 橋 尚 美	A Study on the English Present Perfect and Its Effective Instruction
	林 要 昭	A Study of Blake's Symbols and Visions in 'Songs of Innocence and Experience'
	牧 野 美知子	Developing Reading Ability as Part of Communicative Competence
	宮 本 友 紀	Discourse Structure in Foreign Language Classrooms : A Study of Classroom Interactions with Special Focus on Teachers' Feedback

## 【経済学研究科（修士課程）】

専 攻	氏 名	論 文 題 目
地 域 ・ 経 済 政 策	王 軍	中国国有企業の民営化への改革
	田 中 伸 介	最適間接税理論についての一考察
	千 殿 文	中国におけるビール産業の発展と立地-青島ビールを事例として-
	夏 広 譜	日本と中国における環境会計の導入について ～その現状と事例に関する分析と提言～
	金 堅	図們江地域開発による生態環境の影響及び保護対策（中国側）
	孫 甲 軍	中国の為替制度の改革について -ターゲット・ゾーン方式導入の可能性-
	張 永 新	中国四川省成都市における大気汚染 -成都市住民の呼吸器の健康状態の調査-
	李 海 蘭	中国都市廃棄物について ～中国国情に合わせ、日本の経験を学ぶ～
企 業 経 営	江 尻 宏 樹	日本型経営の理念と論理 - 「企業本位主義」の多角的検討 -
	布 目 大 剛	中小企業の環境管理システム ～その導入の可能性～
	中 山 宏	雇用・就労形態の多様化と「労働者」概念
	宮 重 徹 也	大型合併の有効性に関する一考察 -医薬品産業を中心とした実証研究-
	李 寿 貞	韓国におけるコーポレート・ガバナンス改革
	金 在 国	マーケティング技術の国際移転に関する一考察
	玄 明 哲	携帯電話サービス事業における日中の比較
	段 暁 妍	中国の改革開放のゆくえ -国有企業改革に関する転換を中心として-
	張 軒	在中日系企業におけるコミュニケーション・ギャップ問題と解決策
	陶 佳	有価証券の会計に関する研究
	NOORHIZAN BIN ZAINOL	マレーシアにおける人的資源戦略の史的変化
	潘 世 泓	中国における日本企業の経営実態
	HONG YIH YING	日本におけるベンチャー企業経営の実証的考察 ～マレーシアのMSCステータス企業との比較研究～
	劉 洋	WTO加盟による中国サービス産業への影響

## 【理工学研究科（博士前期課程）】

専 攻	氏 名	論 文 題 目
数 学	池 上 洋 平	擬リーマン多様体の幾何学
	金 子 俊 介	Section の定理について
	河 合 邦 治	双曲型方程式に対する振動理論
	小 松 佑 希 子	荷重マルチンゲール不等式



	谷 道 信二郎	Divisor と Krull 環の研究
	長谷川 淳	4 階楕円型方程式に対する Sturm 型比較理論
	洪 川 健 次	有理関数の反復合成
	山 崎 剛	A CERTAIN CHANGE OF KÄHLER METRICS
	山 城 優美子	2 階楕円型方程式に対する Sturm 型比較理論
物 理 学	池 生 剛	金属間化合物 Nd (Ni <sub>x</sub> Pd <sub>1-x</sub> ) Ga の置換による磁性状態の変化の研究
	岩 崎 明	強磁性を示す CeNi 系等の熱電能特性の研究
	小 形 和 己	ギ酸メチル分子のマイクロ波スペクトルの解析
	柏 木 正 詞	ジョセフソン結合と量子ビット
	加 藤 隆 充	分子の光誘起ドリフトの測定法の開発
	加 藤 大 輔	RCoIn <sub>5</sub> (R: 重希土類元素) の単結晶作成と結晶磁気異方性の研究
	金 子 昌 憲	サイドバンドレーザーによるメタノール分子の赤外分光学
	木 内 太 一	ビスマスクラスターの金属-半導体転移
	喜 内 裕 治	マイクロ波分光によるエチルメチルエーテル分子の研究
	小 谷 一 哉	メタノール分子 (CH <sub>2</sub> <sup>18</sup> OH) のマイクロ波分光
	佐 藤 数 馬	メタノール同位体分子 (CH <sub>2</sub> <sup>18</sup> OH) のマイクロ波分光
	高 田 由 美	宇宙定数問題
	土 屋 智 史	多重極端条件 (極低温と強磁場・高圧) 下の比熱測定装置の製作と Ce 化合物の熱物性
	出 作 雅 幸	低速育成 CZ-Si 結晶中の grown-in 欠陥へのボロンドープ効果とリンドープ効果の比較
	戸 松 宣 博	分子の振動励起状態の遠赤外分光
	中 沼 裕 司	価数転移を示す Eu 及び Yb 化合物の希釈効果及び圧力効果
	柳 澤 健太郎	くりこみ群からみた宇宙
化 学	赤 池 龍	ジアセチレン架橋ピチオフェンオリゴマー誘導体の合成と性質
	井 上 佐知男	電気化学的スーパーキャパシタの開発
	川 野 滋 久	Pd-Rh 合金による水素同位体の吸収・放出の熱力学
	清 瀬 八 重	Pd(II) 触媒を用いた立体選択的な 2, 3-二置換ピペリジン環の構築と抗マラリア活性を示す天然物 (+)-febrifugine の合成研究
	小 沼 敦 嗣	無水マレイン酸製造 V-P-O 触媒の活性発現機構に関する研究
	小 林 昌 秀	光学活性 2-イソプロペニル-2, 3-ジヒドロベンゾフラン類の合成と絶対配置の決定
	佐々木 和 重	シクロブテン誘導体の連続ペリ環状反応の開発と応用

	高 木 志 乃	ヘミアセタール中間体を經由する立体選択的ヘテロ環化反応を用いた D-ribose の全合成とオリゴ糖の合成研究
	高 嶋 真由美	ホヤのバナジウム還元機構についての化学的研究
	高 森 美 幸	タングステンとアモルファス炭素膜の固相反応
	中 島 浩 喜	ポルフィリンとチオフェンを融合した置換誘導体の合成と性質
	中 舘 知 子	〔5〕サーキュレンメトキシ誘導体の合成研究
	能 登 祥 平	非平面型サーキュレンの簡易合成と性質
	能 村 衛	ニオブ中の水素透過に及ぼす表面偏析酸素の影響
	畑 香 織	種々のペルオキソバナジウム (V) 錯体の合成と性質
	松 島 大 輔	二価のパラジウム触媒を用いたケトンの $\alpha$ 位への選択的モノアリル化反応の開発
	何 景 江	周波数応答法によるマイクロ細孔中の混合ガスの吸蔵挙動
生 物 学	植 竹 裕 三	塩分ストレスによるカスパリー線の発達制御に関する研究
	木 谷 雅 和	ゴマにおけるビタミンE生合成酵素 ( $\gamma$ -TMT) 遺伝子の単離と発現に関する研究
	沢之向 隆	日本産ツツナミソウ属の染色体数と形態
	関 原 康 子	ネナシカズラ寄生根の分裂組織形成に関わる遺伝子の研究
	千 村 貴 子	棘皮動物の異種間交雑に関する研究
	濱 谷 聡 志	ゴマの花形成の調節機構に関する研究
	細 田 佳 雄	ハムスター腺性下垂体の発生及び生後発達に関する研究
	松 原 未央子	棘皮動物における分子系統学的研究および骨片形成機構に関する分子発生的研究
	丸 山 泉	アリ類における放浪種と非放浪種の比較生態学
地 球 科 学	有 賀 啓 満	大循環モデルを用いたエルニーニョ南方振動の位相反転に関する研究
	稲 葉 洋 之	北陸地方で発現する持続性フェーンの実態と GPS 気象学の応用
	薄 井 たかし	中谷ダイヤグラムの再検討
	北 村 和 夫	群馬県榛名山起源の降下軽石の古地磁気研究
	金 城 聡	GPS データの再検討
	高江洲 盛 史	沖縄トラフにおける海底熱水活動域の地形・地質とテクトニクス
	手 塚 耕一郎	立山山岳地における表面融雪過程の研究
	本 間 佐和子	九州西方マントル上昇流と短周期地磁気時間変化異常
	箕 浦 大 介	モンスーン循環のレジーム遷移に関する比較研究
	矢 作 亘	第四紀堆積物の古地磁気研究—カトマンズ盆地のコア試料—

	四方田 慎 介	先史アンデス文明考古学的試料への地球科学の応用－鉱物科学からの貢献－
生物圏環境科学	中山 将 人	農薬類の固相抽出挙動と計測法に関する研究
	八 田 真理子	溶存酸素と希土類元素からみる日本海の水塊構造とその変動
	柳 川 朋 美	立山室堂平における雪田植物群落の種多様性に影響を及ぼす矮性低木チングルマ(バラ科)の生育習性
	山 口 力	菌従属栄養植物ギンリョウソウ(イチヤクソウ科)の繁殖生態
	山 城 富美子	高山植物チングルマ(バラ科)における種子発芽特性と遺伝的構造の個体群変異
	ERINI YUWATINI	フタル酸ジ-2-エチルヘキシルの HPLC 計測法と水環境における動態に関する研究
	呉 佳 紅	塩素同位体比測定法の確立と環境水中の $\delta^{37}\text{Cl}$ 分布
電気電子システム工学	阿 蘇 賢一郎	電子透かしにおける画質劣化の解析
	池 野 茂 之	反発磁気浮上を用いたポリゴンスキャナモータの構造と高速安定回転化に関する研究
	糸 氏 和 博	NiTi 形状記憶合金薄膜の作製
	大 野 洋	放射状マイクロドメイン形成によるネマチック液晶表示方式
	小 沢 文 彦	単相-三相変換装置の電圧利用率改善に関する研究
	数 井 健 一	仮想現実空間におけるサル海馬体ニューロンの応答性
	加 藤 晴 輝	少数の観測電界データからの雷雲電荷分布推定
	川 合 美 充	サブミクロン溝形成によるプレチルト制御と表示特性の検討
	川 辺 了 介	ロッシェル塩-アンモニウムロッシェル塩混晶の相転移
	櫛 田 明	画質差を伴ったステレオ静止画像の客観的評価
	酒 井 友 基	帯電雨観測システムの開発
	白 井 康 義	WO <sub>3</sub> スパッタ薄膜を用いた NO <sub>2</sub> ガスセンサーの作製
	竹 本 康 弘	強誘電相転移の一軸性圧力効果
	谷 口 勝 也	フライバック型スイッチング電源回路のソフトスイッチング化に関する研究
	辻 俊 江	空間構造制御による白色発光有機 EL 素子に関する研究
	藤 本 直 樹	Si(001)基板上への AlSb バッファ層を介した InSb 薄膜のヘテロエピタキシャル成
	古 川 雄 三	Si(001)-In(4x3)及び Ge(001)-In(nx4)表面上における Sb の吸着過程に関する研究
	細 川 道 広	3-D Dynamics of Relativistic Flows in Force-Free Collision-less Pair Plasmas
	本 田 武 夫	プラズマフォーカスにおける粒子線及びX線放射特性
	前 田 智 和	PAM 制御を併用した高周波成分低減形単相 PWM マルチレベルインバータに関する研究
牧 野 弘 康	双方向スイッチを用いた新しいマルチレベルインバータに関する研究	

	増田考将	Plasma Jet Formation by Collision of Magnetic Flux Tubes
	松島功治	携帯型表面プラズモン共鳴センサシステムの開発とその応用
	三井千尋	両極性パルス加速器の開発
	宮田高道	動画像品質の客観的な連続評価法
	山田泰英	ラット弓状核腹内側部及び背側縫線核ニューロン活動に対する Ghrelin の作用
	若林浩史	重水素置換した亜リン酸グリシンの強誘電特性
	JIGME SINGYE	Lightning Simulation Using FDTD Method
	SUN LING	集中キャパシタによる分布定数ラットレースの小型化に関する研究
知能情報工学	池田征史	自己学習可能な ULR ファジィコントローラに関する研究
	石野洋一	SOVA と Max-Log-MAP の関係についての研究
	太田徹児	カラー画像データベースの作成並びに解析に関する研究
	黒田大輔	モーションキャプチャ装置を用いた舞踊評価システムの作成に関する基礎的研究
	小林明英	道路案内標識の検出並びに理解に関する研究
	後藤寛和	Recombination Effect in the Collision of Two Magnetic Flux Tubes and the Heating of Coronal Loop Footpoints.
	進藤武史	変形ファクターグラフ上での sum-product アルゴリズムに関する研究
	平明徳	超音波洗浄槽の結合振動モードの解析-駆動部分の影響について-
	高村寛樹	マスクパターンの熱変形に関する有限要素法解析-熱源分布の影響について-
	竹島健太	極微小視角における色覚特性に関する研究-周辺視(垂直方向)における色覚特性-
	津田邦史	Watson-Crick 有限オートマトンの計算能力に関する研究
	釣慎輔	LED 道路情報板における最適表示色数及びその色度領域に関する研究
	寺島洋行	Evaluation of source waveform recovery using power envelope inverse filtering in sub-band processing.
	林弘貴	挿入削除システムの計算能力に関する研究
	樋口大輔	日本語による質問応答処理システムの研究
	松井敦之	顔平面による顔表情の解析に関する研究
	毛利昌弘	PAL を用いたステレオ全方位画像による距離測定に関する研究
	若田航太	車載表示器が自動車運転に及ぼす影響に関する研究
	王世峰	CG 画像を用いた都市景観照明における演色効果に関する研究
	杜宇峰	変形文字の認識手法の開発に関する研究
	唐小南	打鍵時間に基づく個人認証システムに関する研究

	楊 海	両眼融像によって知覚される図形による主観的輪郭
	李 勇	正の自己フィードバックを持つホップフィールドネットワークとその TSP への応用
機械知能システム工学	青 木 裕 樹	フィン付伝熱管群の熱流動特性に及ぼすフィン周り流れの影響
	浅 瀬 浩 之	管内流に直交する片持ち円柱の流力弾性振動（抑制板からの距離による影響）
	池 崎 智 幸	双回転型丸鋸切断機の試作と切断特性に関する研究
	石 坂 直 樹	ポートホールダイスによる AZ31B マグネシウム合金中空押し出し材の成形
	和 泉 省 二	AZ31B マグネシウム合金平板の熱間押し出し加工性に及ぼす型形状とベアリング面性状の影響
	岩 瀬 剛	微小径穴の仕上げ加工
	上 田 修 一	電子ビーム溶融法で表面改質したアルミニウム合金の機械的特性評価に関する研究
	大 林 環	金属材料の 2 次元切削における切りくず生成機構と加工面性状に関する研究
	小 原 卓	AZ31B マグネシウム合金切削チップのリサイクル熱間押し出し
	金 森 敬 宗	粘弾性に関する分子動力学的研究
	川 口 和 也	空気圧式掌握義手の試作
	河 原 智 行	ソリッド押し出し材の流速分布に及ぼす押し出し因子とダイス形状の影響
	神 戸 篤 史	高温加工とカルシウム添加による $\text{YBa}_2\text{Cu}_3\text{O}_{7-x}$ 焼結体の超伝導特性の改善
	北 見 知 士	SWAP-SPS 法で作製したアルミニウム-高けい素粉末合金の高速超塑性と耐摩耗性
	齋 藤 彰 一	観測系移動による物体形状測定
	佐 武 晃	銅合金の被削性に与える添加元素の効果に関する研究
	鈴 木 聖 礼	フラッシングにより微粒化された過熱水噴流の噴霧特性に関する研究
	隄 雅 和	トポグラフィ破面解析による Ti 合金及び Al 合金の内部き裂発生・進展挙動に関する研究
	中 田 高 行	スペckル干渉を用いた微小振動の実時間測定
	中 西 章 仁	古典力学系の数値計算の簡易誤差評価
	野 俣 新一郎	腐食疲労低応力域の疲労寿命を決定する腐食ピットの発生と成長特性
	萩 原 衛	繰返しねじり条件下での改良 9Cr-1Mo 鋼のき裂伝ば挙動に及ぼす負荷ひずみ波形の影響
	花 田 竜 一	SCM435 鋼の超長寿命域の疲労強度特性に関する研究
浜 中 貴 信	転がりすべり接触による半無限体中の介在物または空孔周りの応力集中	
氷 室 直 樹	小径穴ドリリングシステムの開発	
福 井 淳	鋼球の衝突を受ける CFRP 積層板の温度分布を考慮した熱粘弾性解析	
藤 川 幸一郎	潜熱回収型熱交換器における性能向上	

	藤 橋 勝 樹	ロバスト制御を用いた衝撃塑性加工
	舟 橋 公 祐	等高歯アングュラ・ハイポイドギヤに関する研究
	牧 嶋 真 也	奇数気筒V R形機関に関する研究
	丸 山 泰 宏	SNCM439 鋼の超長寿命域の疲労強度特性に及ぼす焼戻し温度および表面改質の影響に関する研究
	森 井 祐 一	三次元破面解析による高強度鋼の内部疲労き裂発生・進展機構に関する研究
	盛 下 光 寛	鉛直管内流中を上昇する球形粒子の流動特性 (管接合部の偏心量による影響)
	米 澤 慎 悟	焼結 Al-Si 系合金の被削性に関する研究
	渡 辺 泰 亮	WC-Co 溶射による SNCM439鋼のフレット疲労特性の改善
	和 田 英 敬	搭乗者姿勢に対する安定化補償形油圧駆動4足歩行ロボットの研究
	呉 友 誼	表面処理アルミニウム合金 A6151-T6の疲労強度特性とき裂進展挙動に関する研究
物質生命システム工学	浅 井 伸 介	非環状及び環状スルフィミドと Selectfluor™ との反応によるフルオロ- $\lambda^6$ -スルファンニトリル類の新規合成法とその反応性
	荒 井 剛 史	<i>Pseudomonas putida</i> を用いた排水内シックハウス原因物質の生分解
	荒 川 岳 大	酸化物高温超伝導体の元素置換による超伝導特性
	淡 路 佳 孝	低熱膨張性超耐熱合金に生成する $\epsilon$ 相の熱処理と構造
	磯 邊 紀 之	$Mn_5Si_3C_x$ 化合物の伝導と磁性
	井 出 雅 也	細胞性粘菌 RecA ホモログの解析
	伊 藤 智 則	二酸化チタン微粒子を用いる可塑剤の光触媒分解と二酸化チタンの連続分離
	稲 場 誠	薄層空間中におけるコロイド結晶の作製と光学特性
	今 井 慎	Effect of Zwitter Ionic Group on the Structure of Water As Studied by Raman Spectroscopy
	岩 辰 彦	$NH_3$ プラズマ表面処理ガラス状高分子膜のガス透過性
	種 田 康 孝	Studies on the Syntheses, Structures and Reactions of Thianthrene "Dimer" Derivatives
	大 田 玲 奈	7, 12-メタノ-3 H-シクロヘプタ[10]アヌレン-3-オン及びその誘導体の合成と性質に関する研究
	荻 野 将 人	<i>Hormonema</i> 属を用いた生分解性高分子ポリリンゴ酸の生産
	織 田 明日香	Oxidative Damage of Cysteine Protease by Peroxynitrite
	開 沢 大 樹	懸濁 $TiO_2$ 触媒を用いた光還元反応による $Cu_2O$ の製造
	片 山 貴 博	細胞性粘菌 <i>Dictyostelium discoideum</i> をモデルにした多細胞生物のサイズ決定機構の解析
	亀 井 淳	二層系二重拡散対流における中間層の形成条件とその物質移動特性の数値的検討
	北 村 卓 也	ゾルーゲル法により作成したチタニア薄膜の液相光触媒活性の向上
	木 戸 耕 介	Al-Mg-Si 合金の時効挙動に対する Cu 添加の影響

九 鬼 祐一郎	内部循環式エアリーフリアクターにおける液循環特性
近 藤 文 雄	セリンプロテアーゼに対する阻害剤を担持したポリマーの開発
斉 藤 智	単成分溶媒を含む高分子溶液の乾燥機構解析と数値シミュレーション
澤 田 昌 伸	老化促進マウス (SAM) を用いた記憶学習障害責任遺伝子座の連鎖解析
澤 田 基 弥	透析膜内固定化ラッカーゼを用いた酵素重合法による内分泌攪乱物質除去法の開発
嶋 隆 伸	過飽和溶液を用いた潜熱蓄熱における結晶成長及び自然対流の数値解析
島 田 敬 子	立体障害アミン水溶液による CO <sub>2</sub> の反応吸収-疎水性中空糸膜を用いた CO <sub>2</sub> 同時吸収・放散システムの開発
清 水 真理子	二層系二重拡散対流における層間物質移動特性の実験的解析
白 取 克 隆	Syntheses of Oxidized Fatty Sterol Derivatives Bearing a MBS-linker
田 口 貴 浩	新規蛋白質メチル化酵素遺伝子の機能解析
竹 脇 健 司	アドバンスト・ゾルゲル法による ZrO <sub>2</sub> 薄膜の作製
田 村 健太郎	細胞性粘菌における E.coli PBP4ホモログの解析
辻 淳	細胞性粘菌 <i>Dictyostelium discoideum</i> を用いた活性酸素除去機構の解析
津 幡 健	酸化物(La <sub>1-x</sub> Y <sub>x</sub> ) <sub>0.67</sub> Ca <sub>0.33</sub> MnO <sub>3</sub> の巨大磁気抵抗
手 操 大 輔	EFTEM を用いた Al-Mg-Si-Cu 合金における中間相とその近傍における Cu の分布に関する研究
出 口 豊	反応スパッタ法により作製した Si を含む遷移金属窒化物薄膜の構造と機械的性質
傳 幸 憲	イネの組織培養に及ぼす物理刺激と耐塩性イネ開発の試み
土 肥 寛 明	金属管中粉末圧縮固相反応による MgB <sub>2</sub> および MgB <sub>2</sub> C <sub>x</sub> の超伝導特性
中 野 正 隆	<i>Lactobacillus plantarum</i> フェージφgle の溶菌酵素
中 山 隆太郎	分子認識能を持つペプチド金属錯体の設計
永 田 隆 二	バイングレス造粒による酸化チタン触媒粒子の調製
西 川 貴	薄流を利用した異形粒子群の湿式形状分離装置の開発に関する基礎的研究
西 堀 圭	F-T 合成用スラリー相反応器設計のための気泡挙動の実験的検討
早 川 幸 佑	14番染色体異常を有する成人 T 細胞白血病(ATL)症例の転座切断点の解析と癌関連遺伝子の探索
早 川 豪	<i>Lactobacillus casei</i> が分泌するイヌリナーゼの解析
廣 田 和 也	W-Cr 合金の耐高温酸化
藤 井 育 弘	オートクレーブ法による TiO <sub>2</sub> 前駆体溶液の作製と薄膜コーティング
藤 森 健	Studies on the Syntheses and Reactions of Phenyl and Heteroaryl Substituted Thioacetal Monoxide Derivatives
堀 田 洋 樹	Syntheses of Several Oxidized Cholesterol Derivatives Bearing a Cross-Linker

	松井 博 世	SiO <sub>2</sub> 薄膜の作製およびガスバリア膜への応用
	宮野 真 英	カップリング剤処理による無機酸化物の疎水化に関する研究
	安川 貴 之	Tm <sub>1-x</sub> Gd <sub>x</sub> Ni <sub>2</sub> B <sub>2</sub> C 化合物の低温比熱
	山上 哲 史	新規低温メタノール合成法
	脇坂 恭 規	グラム陽性細菌の脂質分解酵素
	綿貫 史 子	<i>Lactobacillus gasseri</i> の自己溶菌特性
	SUSUMU HIGA ONAGA	Structural analysis of toxin genes from three species of Japanese <i>Vespines</i> .
	戴 華 剛	トリフェニル-1 <sup>6</sup> -スルファンニトリルの金属錯体の合成と構造及び性質に関する研究
電子情報工学	木谷 貢	マイクロ波帯ラットレースの小型化に関する回路論的取り組み
	斉藤 光 史	Si(111)-In( $\sqrt{3}\times\sqrt{3}$ )表面上における Sb の初期吸着過程に関する研究
機械システム工学	川堰 宣 隆	摩擦力顕微鏡機構と化学エッチングを併用した極微細構造形成に関する研究

## 【理工学研究科（博士後期課程）】

専攻	氏名	論文題目
システム科学	MOHAMMED AFROSE KADIR	Gas chromatography design for transient response of SnO <sub>2</sub> gas sensor to multi-component gas mixtures
	魯 連 涛	高強度鋼の超長寿命域における疲労強度特性に関する研究
	王 栄 龍	Hopfield Neural Network Learning and Its Application to Combinatorial Optimization Problems
物質科学	毛利 勝	アズレン縮環新規化合物類の合成とその性質に関する研究
	JANNATUL NAYEEM	Ferroelectric Properties of Glycine Phosphite Crystals
エネルギー科学	早河 秀 章	摂動的 QCD 処方による B 中間子崩壊現象の系統的な解析
	春木 孝 之	Magnetic field generation in streaming plasmas
生命環境科学	丹保 俊 哉	Geoelectric study using the signals of leak current from a railroad and lightning — Application to the Atotsugawa fault region, Japan —
	安江 健 一	Developing process of active fault system in the eastern margin of innerzone of Southwest Japan : a case of the Atera Fault belt
	大桑 孝 子	モデル生物 細胞性粘菌のサイズを決定する cell-counting factor の解析
	佐々木 智 基	アミメアリの社会構造と複数レベル選択に関する進化生態学的研究
	ハ斯巴特尔	Active tectonics of north-central Japan, inferred from the Atotsugawa fault system

## 【工学研究科（博士後期課程）】

システム生産工学	三宅 一 永	降雪映像中の移動物体検出に関する基礎的研究
----------	--------	-----------------------



## 【理工学研究科（博士論文提出による博士の学位授与者）】

氏 名	論 文 題 目	授与年月日
吉 澤 壽 夫	スパッタ膜の堆積と金属マスクの熱変形に関するシミュレーション解析	平成14年9月30日
島 崎 利 治	Pr系遷移金属複合酸化物の合成と物性に関する研究	平成14年9月30日
金 原 清 之	一様流を用いた換気の効率に関する研究	平成14年9月30日
山 内 歌 子	イネ病斑葉遺伝子 <i>Spl7</i> の単離と構造解析	平成14年9月30日
乗 京 逸 夫	石炭火力排ガス中の分離二酸化炭素によるメタンハイドレート中のメタンの回収に関する研究	平成15年3月25日
山 根 岳 志	水平温度勾配下の液相二層系二重拡散対流における流動・物質移動特性の実験的研究	平成15年3月25日
原 正 憲	Zr系水素吸蔵合金の水素誘起不均化反応に関する研究	平成15年3月25日
角 田 謙 朗	四万十帯とグリーンタフ地域の境界領域における貫入岩の岩石学的・地球化学的研究 - 甲府花崗岩体を例として -	平成15年3月30日

## 【理工学研究科（博士後期課程）（平成14年3月31日付け修了）】

専 攻	氏 名	論 文 題 目
システム科学	加 藤 隆 広	道路案内標識の抽出並びに認識に関する研究
	森 努	アルミニウム合金の高精度熱間押出しを目的とした金型変形の測定とFEM解析に関する基礎的研究
物質科学	瀬 尾 省 逸	組織制御による鍛造用鉄鋼材料の開発

## 【理工学研究科（博士後期課程）】（平成14年9月修了）

専 攻	氏 名	論 文 題 目
物質科学専攻	藤 森 洋 行	シリコン結晶中の微小欠陥形態に関する研究

(注) 大学院学則第21条第2項（在学期間の特例）適用

## 訂正

第458号10ページ上から5行目に誤りがありました。  
お詫びして訂正します。

(正) 人文学部教授会は、2月5日(水)に…

(誤) 人文学部教授会は、2月19日(水)に…



△恩師を囲んで記念撮影



△平成14年度永年勤続者表彰及び退職者を囲む懇談会

### 学報のペーパレス化について（お知らせ）

富山大学学報につきましては、紙資源の有効活用と森林資源の保護をはかる観点から、次号（平成15年4月号）からペーパレス化（電子化）することになりました。

次号からは、富山大学ホームページ（URL；<http://www.toyama-u.ac.jp/jp/>）に掲載いたしますので、関係各位のご理解とご利用をお願いいたします。

編集 富山大学総務部企画室 〒930-8555富山市五福3190 TEL. (076) 445-6029 FAX. (076) 445-6033  
印刷所 あけぼの企画㈱ 〒930-0031富山市住吉町1-5-18 TEL. (076) 424-1755 FAX. (076) 423-8899